

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月23日

計画の名称	津波や高潮につよい愛顔あふれる海岸づくり ～波の脅威から命をまもる～（防災・安全）															
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	愛媛県															
計画の目標	愛媛県は、全国第5位（約1,700km）の海岸線を有しており、その沿岸域は人家、道路や公共施設などが集積している。 これら沿岸域の人命や資産の防護を図るため、東南海・南海地震による津波や、異常気象に伴う高潮・波浪等による被害リスクの増大に対し、愛媛県全体で総合的に海岸事業を実施し、越波による浸水等の被害を防止する。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		1,263	A	1,263	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	津波・高潮・波浪等による背後地の浸水面積を約78ha(R7)から24ha(R11)に減少させる。 計画区域内（計画該当箇所）の津波や高潮・波浪による浸水面積の減少を指標とする。 計画区域内の津波や高潮・波浪で浸水の恐れのある背後地面積（ha）- 事業実施により安全性が確保された背後地面積（ha）= 計画区域内の浸水危険区域（ha）（事業実施により安全性が確保された背後地面積（ha））			
		78ha	58ha	24ha
2	津波・高潮・波浪等による背後地の浸水被害人口を約2,991人(R7)から1,500人(R11)に減少させる。 計画区域内（計画該当箇所）の津波や高潮・波浪による浸水被害人口の減少を指標とする。 計画区域内の津波や高潮・波浪で浸水の恐れのある背後地人口（人）- 事業実施により安全性が確保された背後地人口（人）= 計画区域内の浸水危険人口（人）（事業実施により安全性が確保された背後地人口（人））			
		2991人	2250人	1500人

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	一般	愛媛県	直接	-	高潮	水国	北灘海岸高潮対策事業	護岸工L=2,000m	宇和島市						373	6.4	-	
		水・国局																		
	A09-002	海岸	一般	愛媛県	直接	-	津高	水国	多喜浜新田海岸他津波・高潮危機管理対策緊急事業	護岸・堤防・水門・樋門等耐震補強他N=1式	新居浜市他						890		-	
		水・国局																		
											小計						1,263			
												合計						1,263		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 津波や高潮につよい愛顔あふれる海岸づくり ～波の脅威から命をまもる～（防災・安全）

[illegible]